

本年も本誌をご愛読いただきありがとうございました。本号を含めて年間の掲載論文を振り返ってみても、ご報告いただいた知見はどれも本当に貴重なものだとあらためて感じています。こういった優れた情報を皆様に共有してもらうお手伝いをするのがわれわれ編集委員の役割ですが、本誌で長年その編集に携わってこられた大塚藤男先生が今年一杯で退かれます。大黒柱が抜け本誌の先行きを心配なさる向きもあるかとは思いますが、大塚先生にはこれからも大所高所からのご指導をいただければ有り難く存じます。

さて、話は変わりますが、先日「カスタマー・ハラスメント」の問題がテレビで取り上げられていました。企業やお店が提供する商品・サービスに対する理不尽なクレマーの増加は、社会的問題となっています。番組では、その土壌として「お客様は神様です」という意識の存在が大きいことを中心に話を構成していました。これは、モンスター・ペイシエント、モンスター・ペアレントなどにも通じる根深い問題です。

医療の世界においても、「お客様は神様です」的な発想から生じたものが、通常の日本語ではありえない「患者様」という言葉とも言えます。この言葉を使う背景にあるのは、純粹な「患者中心の医療」とは似て非なる意識だと思います。少なくとも「患者様」という表現には、個々の患者さんに対するリスペクトは感じられません。15年以上前に、この編集後記で、その数年前から医療機関で使われだした「患者様」という不思議な言葉に言及させていただきました。当時から、高名な国語学者の先生が、「患者様という言葉は、怪我人様という言葉があり得ないのと同じように使うべき言葉ではなくむしろ失礼」と述べておられましたが、そういった言葉に対する感性は、その後も埋もれたままになっています。現在、医療機関、世間一般ともに「お医者様」はダメだけど、一見患者さんを敬っているようにみえる「患者様」はOKとなっているようです。

言葉は生き物ですので、変遷する世間一般の使い方をとやかく言うことはできません。しかし、患者さんのことを第一に考えるべき医療者側は、誤解を与えないよう、言葉にはもう少し敏感になってもよいように思います。

それでは、皆様どうぞよいお年をお迎えください。来年は新しい編集委員会の構成になりますが、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

(土田哲也)

— 顧 問 —

肥 田 野 信 大 原 國 章

— 編 集 委 員 —

大 塚 藤 男 土 田 哲 也 五十嵐敦之 相 馬 良 直 林 伸 和

「皮膚科の臨床」第60巻 第13号 12月号

2018年12月1日発行（毎月1回1日発行）

定 価（本体 2,700 円＋税）

年間購読料金 定価（本体 42,100 円＋税）

〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発 行 所 金原出版株式会社

発 行 者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165〔編集室直通〕

TEL 03(3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03(3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp>

振替口座 00130-1-191269

印 刷 所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 TEL 06(6941)5600

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

- ・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。